

# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 日本トランスシティ株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 9310 URL http://www.trancy.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小川 謙  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)福村 隆宏 (TEL) 059-353-5211  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	43,578	2.9	1,917	△4.6	2,275	△4.2	1,349	△8.1
25年3月期第2四半期	42,354	3.7	2,010	△6.6	2,376	1.0	1,469	3.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,011百万円 (69.6%) 25年3月期第2四半期 1,185百万円 (△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.98	—
25年3月期第2四半期	22.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	93,116	44,382	46.6
25年3月期	90,861	42,833	45.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 43,346百万円 25年3月期 41,688百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	87,000	2.7	3,700	18.7	4,000	0.5	2,500	31.2	38.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、【添付資料】3ページ「2. (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」  
をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	67,142,417株	25年3月期	67,142,417株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,810,044株	25年3月期	2,805,264株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	64,334,874株	25年3月期2Q	64,338,976株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や金融政策の影響により、円安株高が進行し、輸出の持直しや製造業を中心とした企業収益の改善、個人消費の堅調な伸び等により、景気の自律的回復への動きが見え始めております。一方では、原材料価格の高騰や消費税の増税、不安定な海外経済の動向といった景気の下振れリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境下におきまして、物流業界では、輸出貨物の荷動きが徐々に持直しの動きを見せるなか、輸入についても円安の影響が懸念されたものの、底堅い個人消費等に後押しされ、堅実な荷動きで推移しました。

こうした情勢のなか、当社グループの業績は、総合物流事業において、倉庫業では、倉庫保管残高は前年同期に比べ減少しましたが、入出庫にかかる取扱量は増加し、保管貨物回転率も改善しました。また、物流加工業務にかかる取扱量につきましても順調に増加しました。港湾運送業では、四日市港における海上コンテナの取扱量は前年同期に比べ増加し、輸入原料の取扱量は前年同期並に推移しましたが、完成自動車の取扱量は輸出、国内向けともに減少しました。陸上運送業では、主力のトラック輸送ならびにバルクコンテナ輸送の取扱量は前年同期に比べ減少しましたが、鉄道貨物の取扱量は増加しました。国際複合輸送業では、海外における取扱いが順調に推移したことから、海上輸送および航空輸送の取扱量は前年同期に比べ増加しました。このような状況により、総合物流事業全体の売上高は、前年同期比2.9%増の430億5千3百万円となりました。

その他の事業につきましては、依然として厳しい環境下ではありましたが、業務の効率化や収支改善に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の**連結売上高**は、連結子会社が増加したことに加え、消費財物流の取扱いが堅調に推移したことなどにより、前年同期比2.9%増の435億7千8百万円となりましたが、**連結経常利益**は、前年度からの営業費用の増加などの影響が残り、前年同期比4.2%減の22億7千5百万円となり、**連結四半期純利益**は、前年同期比8.1%減の13億4千9百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度末と比べ22億5千4百万円増加し、931億1千6百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末と比べ15億4千9百万円増加し、443億8千2百万円となりました。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は14億6千9百万円増加し、四半期末残高は113億4千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金は34億9千万円(前年同期比19億8千5百万円の収入増)の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益22億4千2百万円、減価償却費12億9千5百万円ならびに前連結会計年度末日の休日影響等による売上債権の減少額11億6千4百万円等による増加の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金は13億4千9百万円(前年同期比3億6千4百万円の支出減)の減少となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出15億4千1百万円等による減少の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金は10億3千4百万円(前年同期比17億7千5百万円の支出減)の減少となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円等があったものの、長期借入金の返済による支出25億6千3百万円、配当金の支払額3億2千1百万円等による減少の結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画通りに推移しましたので、平成25年5月9日に公表しました通期の業績予想は変更しておりません。

なお、今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,010	11,365
受取手形及び営業未収金	13,832	12,888
たな卸資産	122	98
その他	2,492	2,437
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	26,442	26,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,653	14,100
土地	29,656	30,313
その他(純額)	3,216	4,095
有形固定資産合計	47,526	48,508
無形固定資産		
投資その他の資産	1,254	1,277
投資有価証券	11,273	11,974
その他	4,381	4,609
貸倒引当金	△16	△27
投資その他の資産合計	15,638	16,556
固定資産合計	64,419	66,341
資産合計	90,861	93,116

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,373	7,141
短期借入金	2,741	2,777
1年内返済予定の長期借入金	4,373	2,226
未払法人税等	372	735
賞与引当金	971	987
その他	2,649	3,578
流動負債合計	18,482	17,447
固定負債		
長期借入金	17,787	19,377
再評価に係る繰延税金負債	4,618	4,618
退職給付引当金	1,470	1,459
役員退職慰労引当金	13	17
長期預り保証金	3,547	3,520
負ののれん	6	3
その他	2,100	2,289
固定負債合計	29,545	31,285
負債合計	48,027	48,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,428	8,428
資本剰余金	6,732	6,732
利益剰余金	28,160	29,294
自己株式	△1,100	△1,101
株主資本合計	42,221	43,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	929	1,282
土地再評価差額金	△1,366	△1,366
為替換算調整勘定	△95	76
その他の包括利益累計額合計	△532	△6
少数株主持分	1,144	1,036
純資産合計	42,833	44,382
負債純資産合計	90,861	93,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	42,354	43,578
売上原価	37,730	38,926
売上総利益	4,623	4,652
販売費及び一般管理費	2,613	2,734
営業利益	2,010	1,917
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	263	152
持分法による投資利益	240	248
その他	54	111
営業外収益合計	567	520
営業外費用		
支払利息	169	133
為替差損	26	—
その他	5	29
営業外費用合計	201	162
経常利益	2,376	2,275
特別利益		
固定資産処分益	18	5
負ののれん発生益	0	0
特別利益合計	18	6
特別損失		
固定資産処分損	16	8
関係会社株式売却損	—	30
投資有価証券評価損	28	0
その他	3	—
特別損失合計	48	38
税金等調整前四半期純利益	2,346	2,242
法人税等	835	836
少数株主損益調整前四半期純利益	1,510	1,406
少数株主利益	41	56
四半期純利益	1,469	1,349







